

研究雑誌(84) 障害児教育・動作学誌上実習(二)、
問題設定(一)、「習慣」は曖昧であるが、具体的である(E・セガン、一八三九)。

藤井力夫

前回は、障害児教育が創始当初から「エスプリを育てる」ということを課題としていたことをお話ししました。「精神」というとき、E・セガンは、マンタルでも、モラルでもない、「エスプリ」ということばを使ったのでした。自立的に試みる、そんな場面をいっばい用意しようというのでした。①早期に手当を施せば、これほどまで重くならなかったらうに…。②年齢に相応しい形でいっばい試すことができたなら…。こうした反省を受けてのことでした。「試みるなかで意志が生まれる」。

あれこれ指導しないで、子どもの為すがまをよく観察しなさい、と。何を好み、どのように過ごしているか。習慣、エスプリ、性格を把握しなさい。ただし、習慣だけが子どもを改善できるのであり、何をどう指導するかは、一日をどのよう思い切り活動させたいかであるとする。時間割だけが一人歩きしがちな昨今の学校の問題状況を考へるとき、本質をついた提起となっています。能動的な場合だけ、習慣が子どもを改善できる。表を参照下さい。起床、散歩、朝食、休憩、平衡

訓練、身体訓練、読み聞かせ、あそび、昼食、夕食、畑作業、とても具体的です。早朝の散歩時の手のつなぎ方から、階段の付き添い、おもちゃへの配慮まで、一貫して子ども自身の能動性を問う内容です。課題は発達年齢、三歳程度ですが、少年のものとして、「訓練」と「探索」の両面が注意深く用意されています。「道徳療法」の創始のところ(雑誌1)でもお話ししましたが、持てる力をどれだけ発揮できるか、その人の意欲をどう後押しできるか、これが重要です。子どもへの道徳療法の適用、そう言えます。一日あるいは一週間、どのような活動を思い切りさせたいのか、無理なく能動的に発揮できる構造。動作内容のあり方に対する具体的提言です。(北海道教育大学教授)

このことの大事さを改めて感じます。「動作」も「試み」如何ということ。動作学実習を始めるにあたり、こうした基本概念をいくつか整理しておきたいと思えます。今回は、「習慣」ということばです。これには「能動性」や「自発性」が不可欠なものとして内在しています。「習慣」は曖昧であるが、具体的である。これが、一八三九年六月、ある子息の教育について助言を求められたときのセガンの基本的立場です。表にその骨子を一覧にしました。セガンは言います。まず二ヶ月間は、

〇氏への助言…ご子息の教育について

CONSEILS A M. O... SUR L'ÉDUCATION DE SON FILS
Édouard SÉGUIN 1839.6.20 (全15頁)

2ヶ月間、まずは、為すがまを観察するがよい。
習慣 (ses habitudes)、エスプリ (son esprit)、性格 (son caractère)
習慣だけが、子どもを改善することができる。

I、習慣 (ses habitudes) は曖昧であるが、具体的である。

(夏期)

- 起床**：(6時)寝る子は育つ。一人で目覚めるように。
 - 衣服**：当初は、それとなく手助けする。ボタンやバンドは子どもの立場で工夫せよ。
 - 散歩**：40分からはじめ、1時間、2時間へと散歩の習慣化をはかる。森や木立の起伏のあるところ。子どものそばに大人がいることを感じさせるだけでよい。少し速めに歩く。
 - 朝食**：(9時)散歩後、下着を変え、落ち着いてからテーブルに就く。肉と野菜、果物。水はしっかり飲ませる。
 - 休息**：日課の節で休息。前後のいずれかで**平衡訓練**：椅子上での立位(5-10分間)や片足立ち(4-5分間)試行。
 - 歩行**：左足から歩き始め、腕もしっかり上げさせる。
 - 階段**：登るときは大人は後ろ、降りるときは前にいるようにする。降りるときの子どもの目線に注意。
 - 金槌**：金槌で釘を打つ練習。しっかり大きく打つ。
- (これら身体訓練、後の絵本、ドミノ駒等は日中適宜実施)
- 昼食**：(2時)季節の果物。おやつ程度。間食不要。
 - 夕食**：(6時)ポタージュからはじまるフルコース。
 - 畑作業**：(7-8時)シャベル(1.5kg)ですくって投げる。砂からはじめ、徐々に硬い土、最後には刈り取った株の残っている畑で作業できるようにするとよい。
 - 就寝**：頭の方を25センチほど高くした傾斜をつける。

II、知性 (le rapport intellectuel) は、目線にあらわれる。

- 読み聞かせ**：人物、動物、魚、草木、家などの彩色版画。ときに子どもの手をとりながらお話する。子ども自身が指さしたり、絵本をめくるようになればよい。絵のなかの関係についても注意を向ける。
- 生活用品**：鍵、コップ、本、独楽、手袋、帽子など、数歩離れたテーブルの上に置く。いくつかのものを同時に持ってこさせたり、別のもので取り替えたりさせる。用途に着目。
- ドミノ駒**：幅5インチ、長さ10インチの直方体を使って配列あそびをする。左右対称になるように導くとよい。

III、意志 (la volonté) も、最初は好み (des désirs) から。

動物や四輪馬車などのおもちゃ。食べ物以外にどんなものに興味をもつか注意深く調べる。ちよっかいを出したり、出されたりするような関係が生まれればよい。

IV、生活のなかの小さな変化を記録せよ。

子どもの大きな変化は残るが、小さな変化は消え去ってしまう。生活のなかの小さな変化を記録せよ。